

2020年6月7日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第63巻第9号(通算3186号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 【連絡先(牛田)】090-9161-4027 kyuhochurch@koinonia.or.jp

子どもたちもいつでも歓迎します

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま がつく
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にする教会

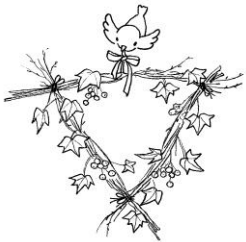
ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)



<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

何かお悩みがありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙 5:5)



さん み いた い し ゅ じ つ

三位一体主日

せい れ い こ う りん せ つ だ い し ゅ じ つ れ い は い
(聖霊降臨節第2主日) 礼拝

そうがく
奏楽

さん

まね ことば し へん へん せつ
招きの詞 詩編 37編 23-24節

さん び か ばん せい せい きょうだん さん び か い いん かい
賛美歌 351番「聖なる 聖なる」(©教団讚美歌委員会)

せい しょ せい ふくいんしよ しやう せつ
聖書 ヨハネによる福音書 14章 1-14節

いの お 祈り 司式者

さん び か ばん ゆ ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 463番「わが行くみち」(©著作権消滅)

メッセージ 「その道をあなた方は知っている」 牛田 匡 牧師

さん び か ばん あゆ ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 505番「歩ませてください」(©著作権消滅)

ユーカーリスト 聖餐 牛田 匡 牧師

きやうどう いの ページ へいわ ページ
共同の祈り(3頁)と、平和のあいさつ(4頁)

さん び か ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

し ゅ いの ページ
主の祈り(4頁)

しん やく いん にん し ゅ く し き 牛田 匡 牧師
新役員任職式

けん きん ばん いま
献金(*) 65-1番「今そなえる」

は けん ばん かみ めぐ う
派遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(©JASRAC)

し ゅ く ふく 牛田 匡 牧師
祝福

こう そう ばん きょうだん さん び か い いん かい
後奏 アーメン コーラス(40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほう こく ページ さんしやう
報告(8頁をご参照ください)

《礼拝は座ったままでご参加ください。ウェブで中継配信を行います》

*「献金」は参加費ではありません。ご用意のある方のみお献げください。

招きの詞 詩編 37 編 23-24 節

²³ 人の歩みは主によって確かなものとされ

その人の道を主は喜ばれる。

²⁴ 彼は倒れても、打ち捨てられることはない。

主がその手を支えてくださる。

聖書 ヨハネによる福音書 14 章 1-14 節

¹ 「心を騒がせてはならない。神を信じ、また私を信じなさい。² 私の父の家には住まいがたくさんある。もしなければ、^a 私はそう言っておいたであろう。あなたがたのために場所を用意しに行くのだ。³ 行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもとに迎える。こうして、私のいる所に、あなたがたもいることになる。⁴ 私がどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」

⁵ トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。どうして、その道が分かるでしょう。」⁶ イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない。⁷ あなたがたが私を知っているなら、私の父をも知るであろう。いや、今、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのだ。」⁸ フィリポが、「主よ、私たちに御父をお示してください。そうすれば満足します」と言うと、⁹ イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、私が分かっているのか。私を見た者は、父を見たのだ。なぜ、『私たちに御父をお示してください』と言うのか。¹⁰ 私が父の内におり、父が私の内におられることを、信じないのか。私^cがあなたがたに言う言葉は、^b 勝手に話しているのではない。父が私の内におられると、私^cが言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのものによって信じなさい。¹² よくよく言うておく。私を信じる者は、私が行う業を行うだろう。そればかりか、もっと大きなことを行うであろう。私が父のもとへ行くからである。¹³ 私の名によって願うことを何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。¹⁴ 私の名によって願うことは何事でも、私がかなえてあげよう。」

(脚注 a: 別訳「あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか」、b: 直訳「自分から」、c: 直訳「とどまり」)

共同のお祈り

ししきしゃ
(司式者)

キリスト教の信仰を私たちの言葉で表現し、共に祈りましょう。

い か
(以下、みんなで)

わたし ひと
私たちは独りではありません。

わたし かみ はたら せかい い
私たちは神が働く世界に生きています。

わたし かみ しん
私たちは神を信じます。

せかい つく かみ いま そうぞう つづ
世界を創られた神は、今も創造のわざを続けています。

かみ ことば にくたい なか こ
神の言は肉体となり、イエス・キリストの中に来られました。

わたし わかい あたら
そして私たちを和解させ、新しくします。

かみ れい わたし すべ いのち なか はたら
神の霊は、私たち全ての命の中に働いています。

わたし かみ しんらい
私たちはこの神を信頼します。

わたし まね
私たちは招かれています。

かみ とも いっしょ よろこ いわ
神が共にいますことを、一緒に喜び祝うために。

わたし まね
私たちは招かれています。

イエス・キリストの言葉とふるまいに従って生きるために。

わたし まね
私たちは招かれています。

たしゃ あい つか あ へいわ じつげん
他者を愛し仕え合い、平和を実現するために。

わたし まね
私たちは招かれています。

じゅうじか し いた かみ ひと たいせつ ふっかつ
十字架の死に至るまで神と人とを大切に、復活されて

いま わたし とも とも い
今も私たちと共にいるイエス・キリストと、共に生きるために。

い とき し とき し こ せい
生きている時も、死の時も、そして死を越えた生においても、

かみ わたし とも
神は私たちと共にいます。

わたし ひと
私たちは独りではありません。

かみ かんしゃ
神に感謝します。 アーメン

(cf. The United Church of Canada, "A New Creed" (1968; rev. 1980, 1995.)

平和のあいさつ

(先導者)

イエス・キリストの言葉。

「あなたが祭壇に供え物を献げようとし、きょうだい自分が
恨みを抱いていることをそこで思い出したなら、その供え物
を祭壇の前に置き、まず行って、きょうだいと仲直りをし、
それから帰って来て、供え物を献げなさい。」(マタイ 5:23-24)

このイエス・キリストの教えに従って、パンとぶどう酒の献げ物をす
る前に、互いに「平和のあいさつ」を交わして、和解とゆるしを確かめ
合しましょう。

(席から立てる人は移動して、お互いに「平和がありますように」「神様
の恵みがありますように」などの言葉を語りながら、平和のあいさつ
を交わしましょう。ウイルス感染予防のために握手はお控えください)

主の祈り

(先導者)

私たちはみな神様の子どもです。神様に信頼して、
イエス様が教えてくださったお祈りを、共に祈りましょう。

(以下、みんなで)

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおおり、

地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を

今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしくください。

わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

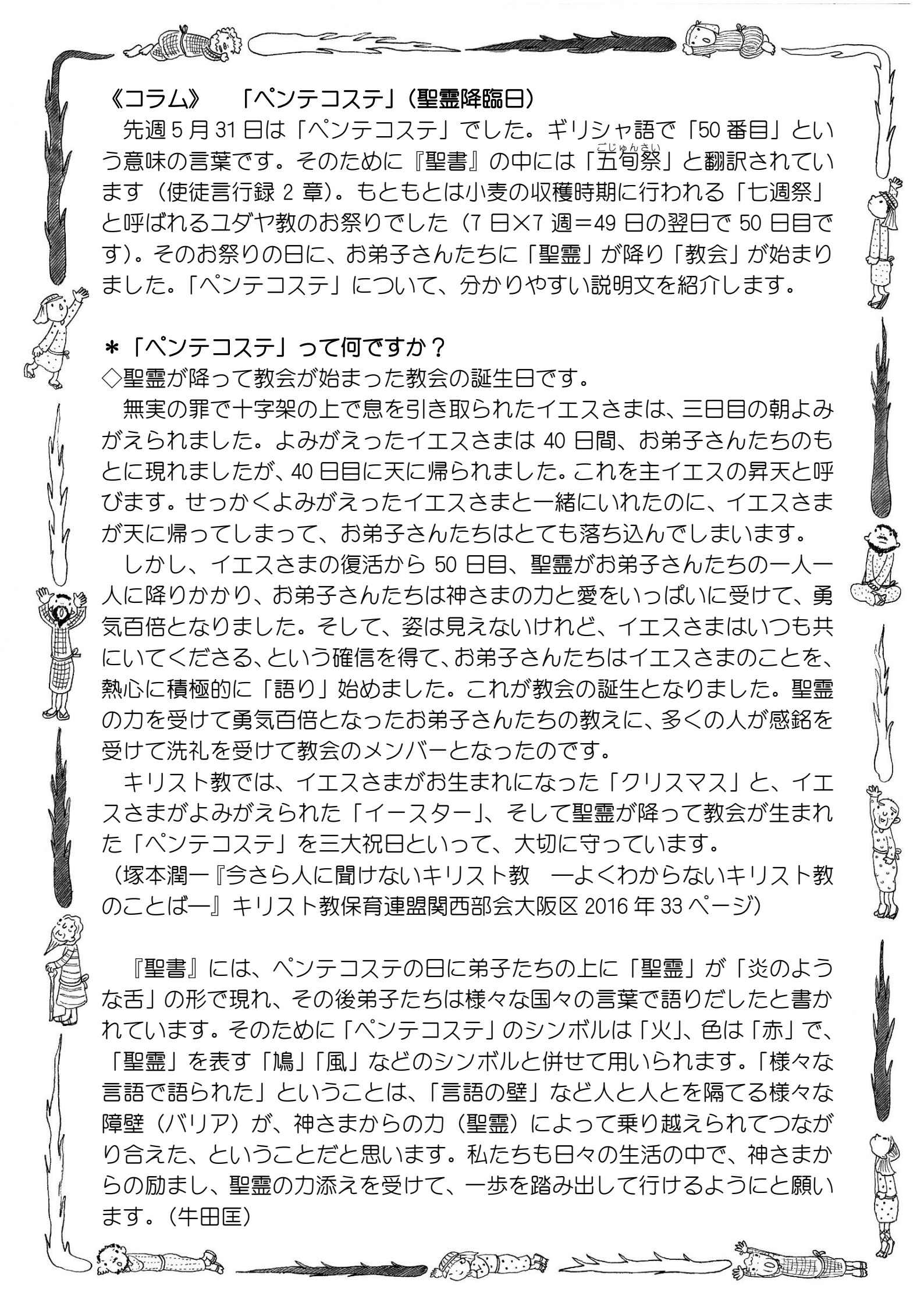
悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

アーメン。

(日本聖公会・カトリック教会共同訳)





《コラム》 「ペンテコステ」(聖霊降臨日)

先週5月31日は「ペンテコステ」でした。ギリシャ語で「50番目」という意味の言葉です。そのために『聖書』の中には「五旬祭」と翻訳されています(使徒言行録2章)。もともとは小麦の収穫時期に行われる「七週祭」と呼ばれるユダヤ教のお祭りでした(7日×7週=49日の翌日で50日目です)。そのお祭りの日に、お弟子さんたちに「聖霊」が降り「教会」が始まりました。「ペンテコステ」について、分かりやすい説明文を紹介します。

* 「ペンテコステ」って何ですか？

◇聖霊が降って教会が始まった教会の誕生日です。

無実の罪で十字架の上で息を引き取られたイエスさまは、三日目の朝よみがえられました。よみがえったイエスさまは40日間、お弟子さんたちのもとに現れましたが、40日目に天に帰られました。これを主イエスの昇天と呼びます。せっかくよみがえったイエスさまと一緒にいたのに、イエスさまが天に帰ってしまって、お弟子さんたちはとても落ち込んでしまいます。

しかし、イエスさまの復活から50日目、聖霊がお弟子さんたちの一人一人に降りかかり、お弟子さんたちは神さまの力と愛をいっぱいを受けて、勇気百倍となりました。そして、姿は見えないけれど、イエスさまはいつも共にいてくださる、という確信を得て、お弟子さんたちはイエスさまのことを、熱心に積極的に「語り」始めました。これが教会の誕生となりました。聖霊の力を受けて勇気百倍となったお弟子さんたちの教えに、多くの人が感銘を受けて洗礼を受けて教会のメンバーとなったのです。

キリスト教では、イエスさまがお生まれになった「クリスマス」と、イエスさまがよみがえられた「イースター」、そして聖霊が降って教会が生まれた「ペンテコステ」を三大祝日といって、大切に守っています。

(塚本潤一『今さら人に聞けないキリスト教 一よくわからないキリスト教のことば一』キリスト教保育連盟関西西部会大阪区2016年33ページ)

『聖書』には、ペンテコステの日に弟子たちの上に「聖霊」が「炎のような舌」の形で現れ、その後弟子たちは様々な国々の言葉で語りだしたと書かれています。そのために「ペンテコステ」のシンボルは「火」、色は「赤」で、「聖霊」を表す「鳩」「風」などのシンボルと併せて用いられます。「様々な言語で語られた」ということは、「言語の壁」など人と人とを隔てる様々な障壁(バリア)が、神さまからの力(聖霊)によって乗り越えられてつながり合えた、ということだと思います。私たちも日々の生活の中で、神さまからの励まし、聖霊の力添えを受けて、一步を踏み出して行けるようにと願います。(牛田匡)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う『緊急事態宣言』の解除にあたって（第四信）

2020年5月29日

日本基督教団総会議長 石橋秀雄
総幹事 秋山 徹

ペンテコステ（聖霊降臨）の喜びのときを迎えようとしているこのとき、「緊急事態宣言」の解除が出されました。未だ油断することは出来ませんが、新型コロナウイルスによる感染拡大が一時的に収まりつつあることに感謝をささげます。

この2ヶ月近くの間、諸教会・伝道所、関係団体・学校の教師と信徒および教職員の方々におかれては、本当に厳しい日々を送られたことと思います。

わたしたちプロテスタント教会の命である『礼拝』を守るために、この期間、祈りと力と知恵を尽くし続けました。ある教会は「苦渋の決断の中で、礼拝を休止しました。」ある人は「神の愛の業として、感染者にならないために、礼拝へ出席することを控えました。」

一つひとつの教会・伝道所が、学校・団体が、そして、そこに生きる一人ひとりが、神への信仰の決断の下、様々な選択をされたことと思います。そのすべてにおいて、主の豊かなる顧みがありますようにと祈ります。

教団としては、4月10日付で『新型コロナウイルス感染拡大防止に関する声明』を公表し、『極力、教会に集わない方法で礼拝をささげることがを講じてください』など4項目について強くお願いをいたしました。多くの教会・伝道所あるいは関係団体において、お願いを受け止めてくださったことを感謝いたします。現段階で、感染拡大への警戒をなお解くことはできませんが、上記の「お願い」については所期の目的を一応達したものといたします。

今後、それぞれの教会・伝道所のご判断で、徐々に、あるいは段階的に、通常の活動の回復をはかっていかれることと思いますが、なお、以下の諸点についてご配慮ください。

1. 第一信にてお伝えしましたように、三密（密閉 密集 密接）を避ける方法で、礼拝やその他の集会を行ってください。また、換気と消毒にはくれぐれも留意をお願いいたします。
2. 主日礼拝や大きな集会は、時間差で、数回に分散して行うことも一つの方法です。
3. これまでのデータから分かりますように、高齢の方、基礎疾患のある方は、感染によって重症化する確率が高いことが分かっています。体調の変化などがみられた場合は、礼拝などに出席はされず、自宅で過ごされることをお勧めください。
4. 今回の感染拡大によって、教会の内外で、傷つき、痛みを負った大勢の方々がおられます。その方々へ愛の配慮をいたしましょう。

聖霊降臨は、愚かな一致を図ろうとした人間の罪によって散らされた“民”が、聖霊によって再びまことの一致に導かれた出来事です。イエス・キリストの霊によって、一人ひとりが豊かに結ばれています。主が与えられている恵みと賜物に感謝して、なお、一層、諸各教会・伝道所と関係団体・学校とが、そして、一人ひとりが、なすべき務めに仕えて、連帯して行きましょう。

《先週のメッセージより》5月31日 ペンテコステ（聖霊降臨日）礼拝

「息は頂きもの」

牛田 匡 牧師

聖書：ヨハネによる福音書 14章 15-26節

今日は「ペンテコステ（聖霊降臨日）」です。イエス様の死からの引き起こしがあったイースターから50日目、弟子たちが集まっていた所に「聖霊」が降った日と伝えられています。「聖霊」というギリシャ語には、「たましい」という意味の他にも「風」や「息」という意味もあります。風も息も無色透明なので目には見えませんが、私たちはその存在を肌で感じたり、体験したりすることができます。「霊」も同じように目には見えませんが、その力や働きを、私たちは様々な形で体験することができるのではないのでしょうか。

今回の聖書は、イエス様が逮捕され十字架につけられる前、弟子たちとの最後の晩餐の席で、イエス様が弟子たちに語られたお話でした。イエス様は弟子たちに向かって「自分に代わって永遠にあなたがたと一緒にいる『助け手（聖霊）』を父なる神にお願いする」と言われましたが、同時に「あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたのもとにおり、これからもあなたがたの内にいるからである」とも言われました。「聖霊」は今までも、そしてこれからも、ずっと私たちの息の中に、命の中に共に在るというわけです。

コロナ禍で今、生活に困っておられる方々も増えて来ています。そのような中でも、自身も決してゆとりがあるわけではなくても、隣りで困っている人を見て、放っておけないと感じて手を差し伸べる方々がおられます。それは華々しい奇跡ではないかもしれませんが、風が音もなく吹き抜けるように、私たちの周りに張り巡らされているバリア（障壁）や境界線を、軽やかに越えさせてくれています。いつも共にある命の神の霊の働きとは、そういうものなのではないのでしょうか。

人生の中では、時に「神様は本当にいるのか」という絶望の声を聞くことがあります。イエス様というリーダー、導き手を十字架上で失った弟子たちもそうでした。しかし、聖書は言います「神は死んでいない。死を越える命がある」、復活のイエス・キリスト「命の神は、いつでもあなたと共にいる。神の息・神の霊は、あなたの命の内にある」。私たちは日々神様によって生かされています。私たちの命、「息（生き）は頂きもの」。他でもないその中に、命の神からの聖霊が共にあり、今日も私たちに働きかけ、私たちに次の歩みへと押し出してくださっています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (5月31日ペンテコステ礼拝)

礼拝出席 大人2名 献金 2,000円 感謝

新型コロナウイルスのための「緊急事態宣言」は解除されましたが、教会に皆で集まる形での礼拝は休止し、礼拝の中継をインターネットで配信いたしました。

◎次週 2020/6/14 教会創立記念日・花の日こどもの日礼拝

招きの詞 申命記 6章20-21節

聖書 マタイによる福音書 13章44-50節

メッセージ「埋もれた宝」牛田匡牧師

賛美歌 「埋もれた宝」 476番 「神の国とその義」

奏楽 さん



「花の日こどもの日」の礼拝です。小さなお子様連れの方も歓迎いたします。

礼拝をインターネットで中継配信いたします。ホームページにて10時半よりご視聴いただけます。例年は礼拝後に愛餐会(昼食会)を行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの感染予防のために、行いません。

◎ お知らせ

- ・本日より教会堂に皆が集まる形での礼拝を再開いたします。しかし、今後も長期的にウイルス対策が必要ですので、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。また咳・発熱・味覚異常・倦怠感・風邪症状のある方や、新型コロナウイルス感染者と接触された方は、ご自宅でお休み頂き、お祈りをもってお過ごしください。なお必要な方には教会の聖書と讃美歌をお貸しいたしますので、お持ち帰りください。
- ・本日、礼拝後に456月期の「教会の活動を考える会(役員会)」を行います。新旧役員の方々はご出席ください。なお今年度より役員ではない方も陪席自由ですので、教会について一緒に考えてくださる方がいらっしゃいましたら、どうぞご出席ください。
- ・先月末から延期されていた「縁農」(釜ヶ崎・いこい食堂支援)は、新型コロナウイルス対応のために中止となりました。しかし昨日、有志が大浦農園(和歌山県かつらぎ町)での玉ねぎの収穫作業にお手伝いに行ってきました。
- ・先月中に書面決議で行った「2020年度定期教会総会」の報告です。有権者である現任教員12名中9名から「議決権行使書」が提出され、無事に「2020年度定期教会総会」が成立しました。【第1号議案:2019年度教勢報告の承認に関する件】【第2号議案:2019年度教会活動報告の承認に関する件】【第3号議案:2019年度教会会計決算の承認に関する件】【第4号議案:(主任)担任教師の2020年度の謝儀に関する件】【第5号議案:2020年度教会活動の計画の承認に関する件】【第6号議案:2020年度教会会計予算の決定に関する件】【第7号議案:教会規則の改定に関する件】【第9号議案:教区総会出席議員の選出に関する件】全て賛成多数で可決しました。【第8号議案:役員選挙】の結果、次期(2020-2021年度)役員として、
が選出されました。新役員と教会の歩みの上に神様のお導きとお力添えをお祈りください(新役員任職式は本日の礼拝の中で執り行います)。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	司式	奏楽	メッセージ	行事
6/14	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)			牛田牧師	(教会創立記念礼拝)花の日こどもの日
6/21				水谷牧師	
6/28				牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
7/5				牛田牧師	ユーカーリスト・教会の活動を考える会